

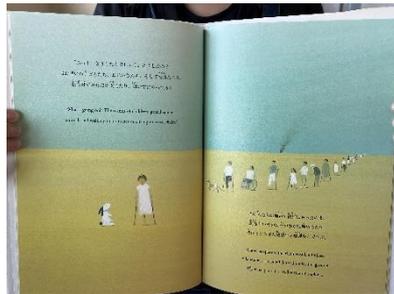


芸術の秋・スポーツの秋・ボランティアの秋

秋になると世の中では様々な「○○の秋」と言われることが多くなりますが、名取北高生にとっては芸術とスポーツ、ボランティア活動に特化した10月だったと思います。10月11日(水)には、名取文化会館を会場に芸術鑑賞会を実施しました。仙南地区新人では、運動部が大活躍。今回は、そんな活躍を皆さんに紹介します。



今年の芸術鑑賞会は、劇団マグネットワールドによる演劇『地雷探知犬ニーナ』でした。芸術鑑賞会の目的は、本物の芸術に直接触れる体験を通して情操を高め、豊かな教養を得るとともに、社会奉仕に関わる道徳性を身に付けることにあります。今回の演劇は、劇団の代表が『地雷ではなく花をください』という絵本と出会ったことから生まれた作品です。テーマが「地雷」という重厚なものでしたが、笑いと悲しみ、そして次の世代につなぐメッセージが込められたとても感動する舞台でした。この絵本は、本校図書室前廊下に現在展示中です。ぜひ足を運んで読んでみてください。



絵本「地雷ではなく花をください」 作：柳瀬房子 絵：葉祥明 出版：自由国民社

高校生の自分にできること

図書視聴覚委員長 3年 中田礼治

地雷。私たち日本人には少しも馴染みのないものが、カンボジアでは当たり前になっているという現実を、演劇を通して突きつけられた私の心は、驚きと動揺が交錯していた。地雷については、製造や設置に少しの費用しかかからないこと、目的が手足を失わせることであることなどの予備知識は備えていた。しかし、それは地雷のほんの一面にすぎなかった。たった一つの小さな兵器が、簡単に人の一生を壊せるということは、本来あってはならないことであり、今すぐにも解決しなくてはならない問題である。それがなかなか叶わないのも現実であり、しかしまた、地雷被害を少しでも減らそうと奮闘している人や犬がいるのも現実である。この素晴らしい演劇を通して地雷について学ぶことができた私は、今後、悲しい、心が苦しいなどという簡単な感情で終わらせることなく、より深く調べることや寄付など、自分にできることを自ら進んで行動に移していきたい。



「なとりん号・なとりんくる」運行開始記念イベントのボランティアに参加

10月1日(日)にイオンモール名取で開催されたイベントに16名の生徒が参加しました。バスには本校生徒デザイン作品が展示され、小さい子の塗り絵や工作を手伝いました。



名取の魅力を伝えるお手伝い～なとりん号リニューアルに寄せて～ 2年 鈴木輝星(写真部)

車外には美術部の作品が、車内には書道部やコミック・イラストレーション部、写真部の作品が飾られていて、どの作品もとても素敵でした。私たち写真部が撮った写真を見てくださった人たちが、「ここに行ってみよう！」とその場所を訪れるきっかけになれば嬉しいです。また、私自身、リニューアル前のなとりん号には乗ったことがなかったのですが、今回のリニューアルに携われたことをきっかけにもっと積極的に乗ってみようと思いました。今回のボランティアに参加して、今まで以上に人との繋がりを大切にしようと思いました。そして、このリニューアルしたなとりん号を通して、より多くの人たちに名取の魅力について知ってもらいたいです。



仙南地区新人大会の結果

10月は仙南地区新人大会が開催され、名取北高生が各競技で活躍しました。主な結果は以下の通りです。

柔道 個人 第3位 滝山 駿



テニス 女子シングルス

テニス 男子シングルス

弓道 女子団体 優勝

第1位 新名美珀

第1位 駒田大地

女子個人 第1位 山口奈弓

第2位 佐藤ひより

第2位 赤嶺太一

第2位 平澤 萌

女子ダブルス

男子ダブルス

第3位 高橋紅衣

第1位 新名美珀

第1位 駒田大地

男子団体 優勝

熊田彩果

高倉 旬

男子個人 第2位 常葉章汰

卓球 女子団体 第2位

陸上競技 女子総合 第2位

剣道 女子団体 第2位

女子ダブルス

女子トラック 第2位

女子個人 第3位 遠藤あかり

第2位 米山知花・岡田未空

バドミントン 男子団体 第2位

第3位 槌谷有海・橋本あやな

女子団体 第1位

※今回は入賞者多数のため、第3位までを掲載しています



河北新報社主催

新聞記事コンクール入賞！

3年生の政治経済と2年生の公共の授業の一環として新聞記事コンクールに約200名の生徒が応募しました。10月21日には表彰式が行われ、学校賞、防災・教育室長賞、優秀賞をそれぞれいただきました。入賞者は以下のとおりです。

◎防災・教育室長賞

3年 小野 亮馬

◎優秀賞

3年 八巻 美々

◎学校賞

宮城県名取北高等学校



東日本大震災から12年。当時5歳だった私だが、今でも鮮明に覚えている。私は今、たくさんの奇跡があったからこそ今を生きている。地震発生時、私は保育所に行っていた。早めに仕事が終わった母親が私を迎えに行こうと思ったら、しかし、体調が良くなかったため、一度家に帰った。この選択が私と母親を津波から守った。地震が起きてすぐに、私は保育所の先生の車に乗せられ、近くの小学校に避難した。母親が保育所に来た時、すでに私は小学校に避難しており、逃げ遅れた子供たちと先生を車に乗せて母親も小学校に避難した。もしあの時、母親を迎えに来ていたら、私たちは公民館に避難していた。その公民館は、階まで津波のみ込まれ、避難者全員が亡くなった。母親の体調と、母が先に私を迎えに来てなかったことで、私は今も生きている。本当に奇跡だと思った。屋上に避難した私は悲惨な光景を見た。水に流される人、車の屋根によじ登って私たちに助けを求める



防災・教育室長賞

あれから12年

宮城県名取北高3年 小野 亮馬さん

人、その人たちはどうなったのか、私には分からない。少しでも避難が遅ければ、私もそうならなかったかもしれない。生と死のはさまにいたかのような経験を、生き残った私だからこそ、私にしかできないことがあるのではないかと日々思う。私はこれを風化させないために、防災対策や訓練をするのはもちろんのこと、自分で判断し、行動できる力を身につけることが重要だと考える。自分の命、家族の命を守るのは自分自身である。自ら考え、情報を整理し、臨機応変に対応できるようにする。これが重要な。学校の訓練で、教師がわざと訓練のことを伝えずに訓練を行う。そのようなイレギュラーな要素を取り入れることで、そのような力が身に付くと考える。災害は一瞬で私たちの命を奪ってしまう。どれだけ本番を想定して準備をし、伝えていくか。それが生き残った私の使命だと胸に刻んでいる。

2023年(令和5年)10月15日(日)河北新報朝刊掲載

写真部仙南展で入賞

白石市中央公民館で開催された仙南支部高等学校総合文化祭で写真部4名の作品が入賞しました。

◎銅賞4名 1年 山内咲依「秋」

2年 石瀬慶昴「藤の花の警官」

2年 齋藤偉和「燦爛たる境界」

2年 星 美音「立秋」



華道部が「なとり市民文化祭」に出展

10月21・22日に「なとり市民文化祭」が名取市文化会館で開催されました。本校華道部1年生3名と顧問の西村先生が作品を出展し、会場に彩を添えていました。



11月の行事予定

6日(月) 前期再考査期間 ~10日

14日(火) 2年進路説明会・修学旅行説明会

8日(水) 後期生徒総会

20日(月) 後期中間考査 ~24日

